

## えりもしゃくなげ



発行者 教育長 川上松美 (代)01466-2-2525  
<http://www.town.erimo.lg.jp/section/kyouiku/sg6h94000000pqh.html>

### 第11回目の子ども議会で 代表10名が一般質問をしました

○11月8日、えりも町議会の主催で11回目の子ども議会が行われました。町内の小・中・高の学校から、小学校は学校代表各1名、中学校と高校は代表各3名の計10名が一般質問に立ち、学校のことや町づくりなどについて堂々と質問しました。

○質問の件名は、次のとおりです。

質問者1 笛舞小6年 川村一華さん  
『近笛地区の公園機能の充実のために、笛舞小学校に遊具の設置を考えていただけないでしょうか』

質問者2 えりも小6年 曾福 椋さん  
『ポイ捨てについて』

質問者3 えりも岬小6年 村田乃望さん  
『コミュニティバス運行について』

質問者4 庶野小6年 安田 椿さん  
『庶野地域の公園について』

質問者5 えりも中2年 小山内琉斗君  
(代理 齊藤凧咲さん)  
『学校の破損部分の修復に向けた修繕費用の増額が可能かどうか』

質問者6 えりも中3年 丸山陽生君  
『町内の公共施設(屋外)の改善』

質問者7 えりも中3年 田中奏大君  
『えりも中学校付近の街灯の整備について』



質問者8 えりも高1年 中村葉月さん  
『町立学校の統合再編について』

質問者9 えりも高1年 村田 大君  
『えりも町の過疎化と地域産業の関係について』

質問者10 えりも高3年 川村優太君  
『風力発電の観光に対する効果に関することと特産物の被害』

○質問は、公園遊具についてのほか、学校の環境整備、学校の将来について、過疎化や観光、特産物についてなど、児童や生徒が率直に日ごろ考えていることが話されました。

○町長も教育長も、子どもたちが感じていることを直に聞いたことを参考意見として受け取り、努力できることは努力し、今後の課題として真摯に受け止めていました。

### えりも岬小で学び合いの授業研究～ 子どもたちは互いの考えを深めてい ました



○11月4日、午後から公開授業研究会が開かれました。授業は算数で、5年生は「わり算と分数」、6年生は「比」を勉強しました。

○5年生は学年1人のため、考えるときには先生と一緒に考えを交流して数学的な考え方を深めていました。

○5年生のわり算と分数は、子どもがつまずくところですが、A君は真剣に先生と一緒に取り組み、理解していたことが印象的でした。

また、6年生5名は、共に認め合う仲間づくりが育ち、考えを深める学び合いの姿が見られました。これまで6年間の指導の成果とも感じました。



正しい姿勢で学ぶ6年生

## 庶野小学校で公開研究会 学び合う5・6年生



○11月18日、庶野小学校で午後から公開研究会がありました。町内外から48名が集まり開かれました。

○公開授業では、5・6年生（5年4名、6年9名）が、初任3年目の粕谷裕希教諭の指導のもと、それぞれ5年生は『異分母の引き算』、6年生は『比の値』について学びました。

○また6年生は、本年度から学習のツールとし

て与えられた端末（クロムブック）を利用して学習していました。

○児童は、立腰などの学習規律もしっかりしているなど、正しい姿勢で勉強に取り組んでいたことが印象的でした。

○公開授業の後は、先生方で「効果的な『対話的な活動』と「効果的なICTの活用」について熱心にグループになって話し合いを行い、授業について振り返っていました。



## 教育委員・地域学校推進委員の 合同学校訪問始まる

○11月22日には、えりも岬小学校で教育委員と地域学校推進委員合同の学校訪問が行われました。

○3・4年生の体育の授業では、学習課題を『みんなで考えた新スポーツを楽しめるかどうか試してみよう』と設定し学習しました。この単元は、4年生が国語の学習でルールを話し合い、実際にやってみて、楽しめたかどうかを話し合

い、授業を進めたものです。

○この教材研究は、担任の工藤麻未先生が国語と体育を教科横断的に考えた授業づくりであり、大変工夫されたものでした。



○説明では、校長のほか、教務主任と生徒指導主事から、学習と生活について取り組まれていることが話されました。

○学校経営が教職員一丸となって進められていることが伝わってきました。

## 教務主任からの説明

